

# ALES DYNAMIC SIDING CLEAR

窯業系サイディングボード塗替専用

弱溶剤形高耐候性ハルスハイリッチ特殊シリコン樹脂クリアー

アレスダイナミックサイディングクリアー

# 優れた紫外線遮断性で 外壁を長期にわたり保護

## アレスダイナミックサイディングクリヤーの特長

高意匠サイディングの風合いを最大限に活かし、  
美観を長期に保ち、外壁を保護する高性能のクリヤーです。



### アレスダイナミックサイディングクリヤー

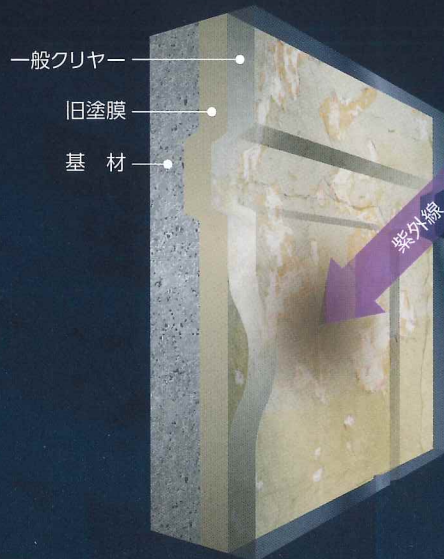
優れた紫外線遮断効果で旧塗膜を長期間保護



アレスダイナミックサイディングクリヤーは、紫外線の遮断  
効果が優れているため旧塗膜の意匠を長期間保護します。  
また、安定した付着性を維持することができます。

### 一般クリヤー

上塗を紫外線が透過することで塗膜劣化が進む



一般のクリヤーはエネルギーの強い紫外線を通過するため、  
旧塗膜は徐々に劣化し、色あせます。また、徐々に付着が低下  
し塗膜の剥がれにいたる可能性があります。

光線透過率



# 優れた耐候性で 紫外線劣化を防止

高性能特殊シリコンレジン、UVトラップ、HALSラジカルキャッチャーの3つの技術で、  
紫外線劣化を防止し長期間、美観を保持します。

## 3つの紫外線ブロック技術

### 高性能特殊シリコンレジン

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能特殊シリコンレジン」で紫外線劣化を阻止



### UVトラップ

「高性能特殊シリコンレジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化

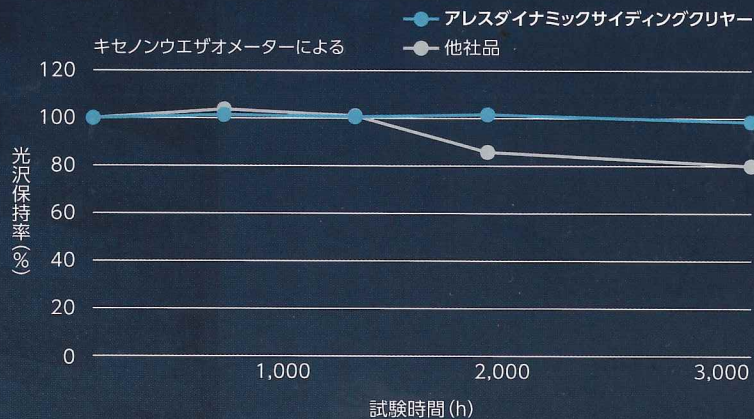


### HALSラジカルキャッチャー

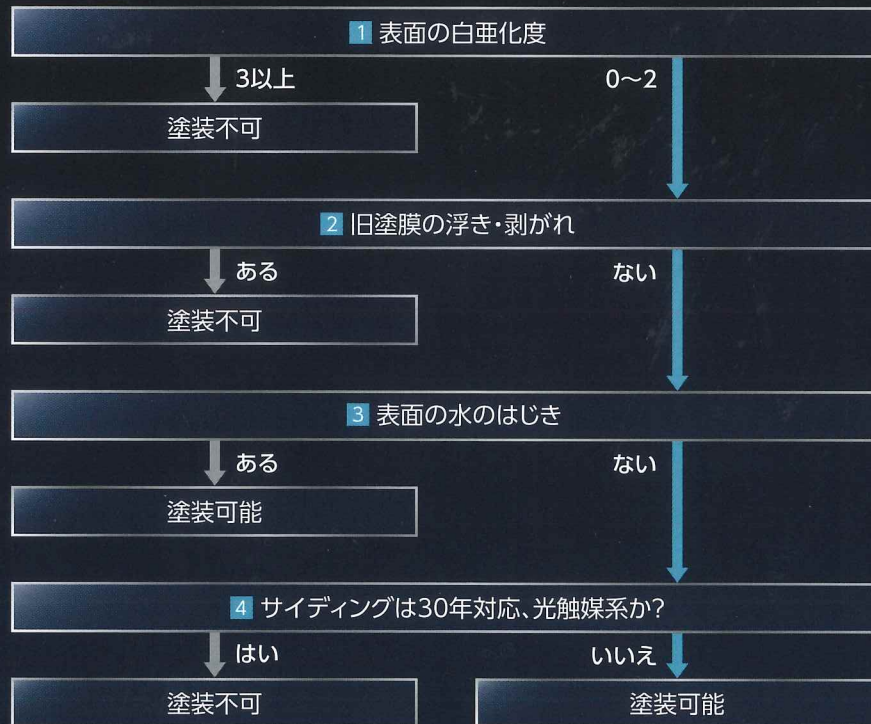
極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し全て無害化



### 促進耐候性 試験結果



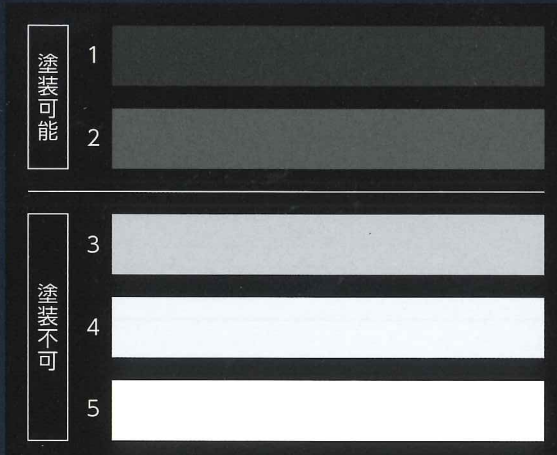
被塗物の状況によってはクリアー塗装に適さない場合がありますので、下記の塗装可否判断フローで塗装できるか確認をしてください。



### 1 表面の白亜化度



白亜化度の等級1~5の判定画像(参考) ※0は白亜化なし



- ①日の当たる南面や西面のサイディングボードの塗膜表面に粘着テープ(セロハンテープ)強く押し付け、指でこする。
- ②粘着テープをはがし、黒の台紙の上に置き、白亜化の程度を評価する。

### 2 旧塗膜の浮き・剥がれ



### 3 表面の水のはじき



北面や劣化の少ない箇所の塗膜表面をウエスで清浄にし、霧吹きで水を吹きかけ、水のはじきの程度を確認してください。

### 4 サイディングは30年対応、光触媒系か?

水がはじかない場合、光触媒処理されている塗膜の可能性があります。施主様にサイディングボードは「30年対応」「光触媒」「光セラ」などを確認してください。光触媒のサイディングである場合、塗装できません。

## 塗料性状

|              |                               |             |  |
|--------------|-------------------------------|-------------|--|
| 荷姿           | 15kgセット(ベース/硬化剤=12.5kg/2.5kg) | 労安法上の表示有害性  | ベース:キシレン・1-ブタノール<br>硬化剤:キシレン・1-ブタノール       |
| 混合比          | ベース/硬化剤=5/1                   |             |  |
| 艶            | 艶有り・3分つや(相当)                  | 有機則/特化則     | ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第2種有機溶剤等                  |
| 仕上り感         | 平滑                            | 消防法による危険物区分 | ベース:第4類 第2石油類(非水溶性)<br>硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性) |
| 劇物表示(品名・含有量) | —                             |             |  |

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

## 主な適用素材

### 窯業系サイディングボード

※初回塗替え時のみ適用できます。※光触媒処理品には適用できません。※表面劣化が著しいサイディングボードには適用できません。

## アレスダイナミックサイディングクリヤー 標準塗装仕様

| 工程 | 塗料名                                      | 容量(kg) | ベース<br>硬化剤比 | 塗装<br>回数 | 塗装条件         |            |      | 標準所要量<br>(標準塗付量)<br>kg/m <sup>2</sup> /回 | 塗装間隔        |      |              |      |
|----|--|--------|-------------|----------|--------------|------------|------|--|-------------|------|--------------|------|
|    |  |        |             |          | 希釈剤          | 塗装方法       | 希釈率  |  | 温度 23℃      |      | 温度 5℃        |      |
|    |  |        |             |          |              |            |      |  | 塗装間隔        | 使用時間 | 塗装間隔         | 使用時間 |
| 下塗 | ベース<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>艶有り        | 12.5   | 5/1         | 1        | 塗料用<br>シンナーA | ハケ<br>ローラー | 0~5% | 0.10~0.15<br>(0.07~0.11)                 | 4時間~<br>7日間 | 6時間  | 16時間~<br>7日間 | 10時間 |
|    | 硬化剤<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>硬化剤        | 2.5    |             |          |              |            |      |  |             |      |              |      |
| 上塗 | ベース<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>艶有り        | 12.5   | 5/1         | 1        | 塗料用<br>シンナーA | ハケ<br>ローラー | 0~5% | 0.10~0.15<br>(0.07~0.11)                 | —           | 6時間  | —            | 10時間 |
|    | 硬化剤<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>硬化剤        | 2.5    |             |          |              |            |      |  |             |      |              |      |
|    | ベース<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>3分つや<br>程度 | 12.5   |             |          |              |            |      |  |             |      |              |      |
|    | 硬化剤<br>アレスダイナミックサイディングクリヤー<br>硬化剤        | 2.5    |             |          |              |            |      |  |             |      |              |      |

※上記の各数値は標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、塗装条件により多少の幅を生じることがあります。

### 施工上の注意事項

#### ■施工上のポイント

【塗料の混合割合】「アレスダイナミックサイディングクリヤー」は2液形塗料です。ベースと硬化剤は、5(ベース):1(硬化剤)の割合で混合してからご使用ください。  
【希釈剤】「塗料用シンナーA」を規定の割合で希釈するか、無希釈でご使用ください。  
【塗装用具及び洗浄】ハケ・ローラーで塗装できます。使用後塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエポキシシンナーをご使用ください。  
【使用時間】硬化剤混合後、6時間(23℃)を過ぎた場合は使用しないでください。

#### 【共通事項】

- ①光触媒のサイディングボードには適用できません。光触媒処理品には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ②表面劣化が著しいサイディングボード面への塗装は、表面劣化部から剥離する恐れがあります。築後15年以内を目安にし、事前に施工前診断を行い、クラックなどの発生、白亜化度等の確認を行ってください。
- ③サイディングの模様で、エッジ部が直角又は鋭角の基材は膜厚が確保できないので塗装を避けてください。
- ④塗装後は濡れ色になるため、既染色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上りをご確認ください。
- ⑤下地が溶剤で溶解または膨潤する場合は本品塗装によりチヂミが発生する危険があります。事前に下地に「カンベ塗シムV」を垂らし、問題がないことを確認してください。
- ⑥塗装面にこみ・汚れなどの付着物が残っている場合、付着不良の原因となるので、入念に取り除いてください。
- ⑦被塗面の洗浄やエフロッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗にて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装すると塗膜のチヂミ、白化、はく離を起こす恐れがあります。
- ⑧可塑剤が多く含まれる部分への施工(塩ビ鋼板、ラッピングシート、クロスなど)は膨潤の恐れがあるためできません。
- ⑨シーリング面への塗装は、塗膜が汚染・はく離・収縮割れを起こすことがあるため避けてください。シーリング材は原則後打ちで施工してください。
- ⑩下塗り材にエポキシ樹脂塗料は使用しないでください。変色、はく離の可能性があります。
- ⑪降雨・降雪、強風などの場合、天候不良の恐れがある場合、また、気温が5℃以下のときの施工は避けてください。塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化する恐れがあります。水分の影響を受ける恐れがある場合は、塗装を避けてください。

- ⑫ベースと硬化剤の混合割合は、必ず守ってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上りや作業性が低下することがあります。また、本品による補修ができませんので、ご注意ください。
- ⑬硬化剤混合後、使用時間内にご使用ください。もし、塗料表面にゲル化が確認された場合は使用を中止してください。
- ⑭塗料の希釈には、必ず「塗料用シンナーA」をご使用ください。他種のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレの原因になります。
- ⑮目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ⑯目地部の塗料たまりや被塗面にタレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- ⑰汚れ、傷、釘頭などを補修塗する場合はウレタングレード以上の外装用塗料をご使用ください。また、補修の色はクリヤー塗装後の塗色に合わせてください。
- ⑱塗付量は規定量を必ず守ってください。特に、凹凸部の膜厚を確保するため、中毛ローラー以上の毛丈があるローラーをご使用ください。塗膜が薄くなると剥がれることがあります。
- ⑲水切り部などに塗装する場合はベンダー等をご使用ください。
- ⑳塗料が皮膚に付着すると、カブレを起こすことがあるので、皮膚に付かないように取り扱ってください。

#### 【3分つや施工上の注意事項】

- ①艶調整品を使用する場合は下塗りに艶有りをご使用ください。艶調整品を2回塗りし、艶ムラが生じることがあります。
- ②吸い込みが著しい場合は艶ムラを生じることがあります。下塗り塗装時に表面に塗膜が残らない場合は艶有りを増し塗りし、吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。
- ③目地の塗付量が多いとたまり部で白化が生じることがありますので、たまりができた場合は目地はけ、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- ④艶調整品では、塗り継ぎや補修で艶ムラが出やすいので、面または目地で切って通しで塗装してください。
- ⑤艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ⑥下塗り上塗りの塗装間隔が短いと艶ムラになる可能性があるため、塗装間隔を守ってください。また、面ごとにインターバルを描いてください。
- ⑦艶ムラが発生した場合は1日以上間隔をあけて、艶調整品で補修してください。
- ⑧艶調整品は使用中に塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。

### ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。


取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。  
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。  
火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。  
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。  
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。  
本来の目的以外に使用しないこと。  
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。  
対目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
応 皮膚に付着した場合は: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。  
吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。  
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手が届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。  
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)  
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。  
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てであることを表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



MADE IN JAPAN

関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757  
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073  
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935  
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981  
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285  
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950  
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(21年02月01刷PKO) カタログNo.894